

2018. 9. 6

## 第 12 回 九州古代種子研究会鹿児島大会のご案内

九州古代種子研究会会長 甲元眞之  
九州古代種子研究会事務局



猛暑の候、皆様におかれましてはますますご健勝のことと拝察いたします。

さて、この度第 12 回九州古代種子研究会を下記の日程において鹿児島県立埋蔵文化財センターで開催いたします。

今回のテーマは「縄文集落と植物利用」です。近年、土器圧痕調査の進展や他の分析法との複合的な植物資料の検討から、集落（地域）間や時期ごとの植物利用の様相がより立体的に議論されるようになってきました。今回は、これまで圧痕調査がなされてきた北海道から九州までの縄文集落とそこで検出された土器圧痕資料の様相を概観するとともに、それらの情報に関する共通理解を図り、今後の課題について考えたいと考えております。

当日は懇親会もございますので、情報交換の場としてもご活用ください。また、本会につきましてご周知いただければ幸いです。皆様の多数のご参加をお待ちしております。

### 記

期 日： 2018 年 11 月 3 日（土）・4 日（日）

場 所： 鹿児島県立埋蔵文化財センター 研修室  
(鹿児島県霧島市国分上野原縄文の森 2 番 1 号)

テ ー マ： 「縄文集落と植物利用」

日程・内容：

#### 1 日 目

13：00～ 開会行事・趣旨説明

13：10～ テーマ① 縄文集落と植物利用－土器圧痕資料の可能性－

講 演 東北の縄文大集落 三内丸山遺跡

斉藤慶吏

13:50～ 【 テーマ① 各地域の様相（北海道～関東） 】

- 発表1 道南の縄文集落と館崎遺跡 福井淳一・影浦 覚  
発表2 中部高地の縄文集落と植物資源 佐野 隆  
発表3 関東地方の縄文集落と植物資源 佐々木由香・山本 華

15:40～ **テーマ② 最近の植物考古学トピック（自由テーマ） 1**

- 発表1 ドングリを貯蔵した低湿地型貯蔵穴の機能について  
—ドングリ貯蔵実験から— 岩永哲夫  
発表2 鹿児島県大隅半島の遺跡における種実調査 川口雅之  
発表3 徳島市三谷遺跡における生業と植物利用  
中村 豊・那須浩郎・中沢道彦・丸山真史・石丸恵利子・  
川添和暁・久保禎子・勝浦康守・中尾賢一・高島芳弘

18:00～ 懇親会（JR国分駅周辺予定）

2日目

9:00～ 【 テーマ① 各地域の様相（九州地方・総論） 】

- 発表4 南九州縄文時代後晩期の縄文時代集落の様相 金丸武司  
発表5 圧痕からみた縄文集落と植物利用 小畑弘己

10:00～ **テーマ② 最近の植物考古学トピック（自由テーマ） 2**

- 発表4 酒詰仲男の生業論について 中沢道彦  
発表5 始良市市頭C遺跡土坑38土壌サンプルのウォーター  
セパレーション分析による遺構の性格の推定  
大西智和・鐘ヶ江賢二・真邊 彩

10:50～ 討論

11:40～ ワークショップ 「炭化物・圧痕でよく見つかる植物の見分け方」

13:00～ 閉会行事

## 申込方法

メールまたは電話にて、下記の内容をご連絡ください。研究会は当日参加も可能ですが、懇親会及びワークショップは人数把握のため事前申し込みへのご協力をお願いします。

必要事項：①氏名，②所属，③懇親会の出欠，④ワークショップの出欠，  
⑤交通手段\*，⑥連絡先

※ ⑤霧島市までの移動手段をお教えてください。(例：飛行機，JR，自家用車 等…)

### 【事務局連絡先】

〒860-8555

熊本県熊本市黒髪 2-40-1 熊本大学文学部歴史学科小畑研究室

T E L : 096-342-2423

E-mail : k.kodai.syushiken@gmail.com

※ メールにて申し込まれた場合は、事務局より返信いたします。数日経っても返信がない場合は、お手数ですが再度メールをお送りください。

申込締切：10月15日（月）